

オリコンサル

# 段差抑え通行確保 地震時道路遮断に対応

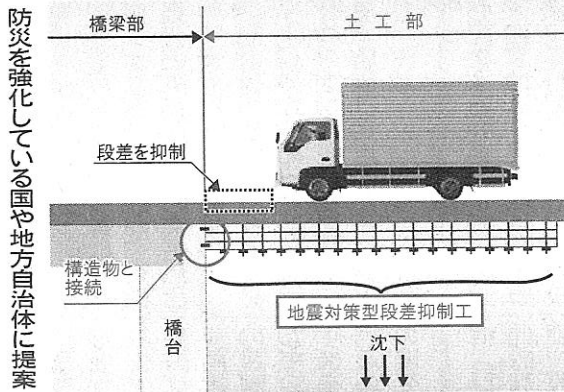
オリエンタルコンサルタンツは、地震で交通ネットワークが遮断されないように、道路防災の提案を強化する。共同開発した地震対策型段差抑制工を、対策工法のメニューの一つとして、東日本大震災を契機に防災の取り組みを強

化している国や地方自治体に提案する。

中央大学研究開発機構、NIPPON、前田工織の3者は、土被りが1・5m程度の場所に適用できる段差抑制工を開発していた。オリエンタルコンサルタンツが参加することで、構造物にアンカーボルト

で網目状のアラミド繊維を固定する方法を共同開発、橋台の背面や土被りの浅いボックスカルバートにも適用を可能にした。

同工法は、地震による揺れで土工部が沈下して段差ができて、舗装面は緩やかに変形することで割れることを防ぎ、車両の通行を確保できる。2車線道路で橋台やボックスカルバートの片側に施工した場合、費用は400万~500万円、工期は1週間程度となる。



防災を強化している国や地方自治体に提案

現場打ちの鉄筋コンクリートで補強する踏み掛け板と比べ、費用は2倍程度掛かるが、工期は約半分です。同社は道路だけでなく、切り土と盛り土の境界部分の不同沈下対策などにも活用できると指摘、用途拡大にも力を入れる方針だ。